

令和7年度 事業報告書

自 令和7年4月 1 日

至 令和8年3月31日



公益社団法人 田中育英会

新潟県上越市土橋 1928 番地

公益社団法人 田中育英会

I.事業の状況

1.奨学金給付事業

【事業の目的】

- (1) 我が国が直面する高齢化社会を支える看護、介護等の学校に通う学生を支援するため返還を求めない奨学金を支給し、もって地域社会の福祉の向上に寄与すること。
- (2) 自然災害から人の暮らしを守り、社会・経済活動を支える基盤をつくとともに良質な生活空間を実現する土木技術を学ぶ学校に通う学生を支援するため返還を求めない奨学金を支給し、若手技術者の育成に貢献し、もって新潟県の土木技術の発展に寄与すること。

【事業の実施状況】

(1) 奨学生の募集活動

a)看護・介護

当会ホームページ、新潟県、富山県、長野県の対象学校と新潟県内の高等学校へ募集要項を送付し、募集を行った。

b)土木技術者

当会ホームページ、新潟県、富山県、石川県、長野県、福島県の土木技術を学ぶ学校と、新潟県内の高等学校へ募集要項を送付し、募集を行った。

(2) 奨学金の支給

1人につき月額20,000円を支給日に3ヶ月分支給した。
(年額 240,000円)

令和7年度 奨学金支給日		対象月
第1回	6月10日(月)	4月分.5月分.6月分
第2回	7月10日(水)	7月分.8月分.9月分
第3回	10月10日(木)	10月分.11月分.12月分
第4回	1月9日(金)	1月分.2月分.3月分

令和7年度 奨学生人数

区分	No.	学校名	令和7年度 期首	令和7年度 退学・休学	令和8年3月 卒業	奨学生 令和7年度期末 人数
看護	1	新潟大学 医学部 保健学科	1		1	0
	2	新潟県立看護大学 看護学部	1			1
	3	新潟青陵大学 看護学部	2		1	1
	4	新潟薬科大学 看護学部	3			3
	5	長岡崇徳大学	3		2	1
	6	新潟医療福祉大学 看護学部	2		1	1
	7	国際メディカル専門学校 看護学科	3		1	2
	8	新潟看護医療専門学校	3		1	2
	9	三条看護医療歯科衛生専門学校	2			2
	10	上越看護専門学校	2			2
	11	村上看護専門学校	4		3	1
	12	北里大学保健衛生専門学院	2		1	1
	13	十日町看護専門学校	1			1
	14	県立吉田病院附属看護専門学校	2		2	0
	15	加茂暁星高等学校 看護専攻科	1		1	0
介護	16	長岡介護福祉専門学校 あゆみ	7	2	2	3
	17	長岡こども医療介護専門学校	1		1	0
土木	18	金沢大学 理工学域 地球社会基盤学類	1			1
	19	日本大学 工学部	1	1		0
	20	長岡技術科学大学 工学研究科修士課程 工学専攻	1		1	0
	21	長岡工業高等専門学校環境都市工学科	3		2	1
合 計			46	3	20	23

(3) 奨学生の異動

- ・ 令和7年4月1日付で、1名より休学届が提出された。
- ・ 令和7年5月、第9期奨学生を21名採用し45名となる。
- ・ 令和7年7月1日付で、1名より休学届が提出された。
- ・ 令和8年3月1日付で、1名より休学届が提出された。
- ・ 令和8年3月、20名が卒業し、奨学生は23名となった。

出身地別内訳

No.	市町村名	人数(名)
1	新潟市	6
2	長岡市	4
3	上越市	2
4	三条市	2
5	新発田市	2
6	村上市	1
7	小千谷市	1
8	柏崎市	1
9	糸魚川市	1
10	魚沼市	1
11	南魚沼市	1
12	見附市	1
合計		23

【事業の実施結果】

- ・ 経済的負担が軽減され、学業や実習に専念できたとの声が寄せられた。生活費や教材費、交通費に充てることで、安心して学び続けられたという意見が多かった。
- ・ 家庭環境の安定につながり、継続的な学習を支える効果が見られた。とくにひとり親家庭では学費の負担が軽減されたことで、家庭の経済的な不安が和らぎ、学業に集中できたとの報告があった。
- ・ 国家試験や就職活動に向けた準備が進み、学習意欲の向上が確認できた。最終学年の学生からは、国試対策や実習に全力で取り組みたいという前向きな抱負が寄せられた。
- ・ 教材費や通学費の負担が軽減され、必要な学習機会を確保できた。高額な教科書や国試対策教材を購入でき、科目選択を諦めずに学べたとの声があった。
- ・ 地域医療への貢献を目指す意欲が高まり、将来の人材育成につながっている。必ず看護師となり地域に貢献したいという言葉が多く、支援が将来の地域医療を支える力となっている。

【今後の方針】

令和8年2月19日に変更認定を受け、令和8年3月に卒業した奨学生から通常の奨学金に加えて、県内就職を促進する卒業時奨学金の支給を開始することとなりました。この新たな制度により、地域の医療・福祉分野を支える人材の育成に、これまで以上に貢献できるよう取り組んでいきます。

学校とも連携し、奨学生の状況を踏まえながら、必要に応じて制度の改善を検討していきます。

2.高等学校支援事業

【事業の目的】

新潟県の土木技術の発展のため、土木技術系高等学校へ教育現場の充実・進歩のための最先端の機器又は最先端の機器若しくは技術研修会等に要する費用を支援し最新の技術とこれからの土木技術に興味を持てるように若手技術者の育成に貢献し寄与すること。

【事業の実施状況】

(1)支援事業の募集活動

新潟県内の土木技術系高等学校8校へ募集要項送付し、募集を行った。

(2)支援内容

高等学校が届け出た最先端機器の取得又は技術研修会等に要する費用を選考委員会に諮り決定し支援した。

[年 額] 200万円程度

(3)支援事業の支給実績

No.	学校名	日 付	支援内容
1	加茂農林 高等学校	R7年7月11日	プロジェクター スクリーン
2	上越総合技術 高等学校	R7年8月18日	レーザーカッター
3	塩沢商工 高等学校	R7年11月20日	ドローン2基

【事業の実施結果】

- ・ 専門科目の授業で活用され、実習の充実につながったとの報告があった。
- ・ 生徒の課題研究では、寄付した機器を活用することで多様なテーマに対応でき、学びの幅が広がった。
- ・ 新しい機器の高性能さに生徒が驚き、積極的に学習へ取り組む姿勢が見られた。

【今後の方針】

これからも、新潟県の土木技術の発展に向けて、教育現場で役立つ最先端機器や技術研修会への支援を続けていきます。各校の状況を踏まえながら、より効果的な支援方法を検討し、生徒が土木技術に関心を持ち、将来の若手技術者として成長できる環境づくりに取り組んでいきます。

Ⅱ.社員総会及び理事会の開催状況

【社員総会】

令和7年5月30日 議案 令和6年度 事業報告及び決算報告 承認の件

出席者：

個人正会員 8名（全員出席）

法人正会員 13社（全社出席）

令和7年12月10日 議案 定款変更の件

出席者：

個人正会員 8名（全員出席）

法人正会員 13社（全社出席）

令和8年3月26日 議案 令和8年度 事業計画決定の件

議案 令和8年度 収支予算決定の件

議案 令和8年度 資金調達及び設備投資見込み決定の件

出席者：

個人正会員 8名（全員出席）

法人正会員 13社（全社出席）

【理事会】

令和7年5月17日 議案 令和6年度 事業報告及び決算報告の件

議案 正会員入会承認の件

議案 社員総会招集開催の件

決議方法：書面決議（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条）

全理事より書面による同意書を受領し、理事会決議が成立した。

また、当該決議内容について監事より確認書を受領した。

令和7年11月26日 議案 定款変更に関する件

議案 奨学金給付規程の改正に関する件

議案 選考委員会規程の改正に関する件

議案 臨時社員総会開催の件

決議方法：書面決議（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条）

全理事より書面による同意書を受領し、理事会決議が成立した。

また、当該決議内容について監事より確認書を受領した。

令和8年3月13日 議案 令和8年度 事業計画案決定の件

議案 令和8年度 収支予算案決定の件

議案 令和8年度 資金調達及び設備投資見込み案決定の件

議案 社員総会招集開催の件

決議方法：書面決議（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条）

全理事より書面による同意書を受領し、理事会決議が成立した。

また、当該決議内容について監事より確認書を受領した。

以 上